

2016年3月期 第3四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2016年1月29日

＜免責事項＞本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

-
- I. **第3四半期業績概況**
 - II. 通期業績見通し
 - III. 参考資料

今回の決算発表のポイント

連結売上高、前年比17.2%増の1,345億円
連結営業利益、前年比64.7%増の105億円となり、増収増益決算
— 通期計画は売上高1,800億円、営業利益130億円を据え置き —

装置事業

YoY+23.6% 増収

映像装置

YoY +26.2%増収。デジタルシネマプロジェクター (DCP) の出荷が好調

光学装置

YoY +20.4%増収。電子部品用大面積露光装置が牽引

営業利益

YoY +20億円増益。営業利益率+2.8ポイント改善。DCP販売増が功奏

光源事業

YoY+11.0% 増収

放電ランプ

YoY +14.0%増収。為替影響に加えシネマランプと固体光源が増収

ハロゲンランプ

YoY ▲1.0%減収。OA用途はコピー機、プリンターいずれも中国経済減速の影響を受けて需要減

営業利益

YoY +20億円、31.4%増益。営業利益率+2.3ポイント改善

業績サマリー

(億円)	FY14	FY15	YoY		FY14	FY15	YoY	
	3Q累計	3Q累計	増減	%	3Q	3Q	増減	%
売上高	1,148	1,345	+197	+17.2	404	459	+54	+13.6
営業利益	63	105	+41	+64.7	23	39	+16	+67.5
営業利益率 (%)	5.6	7.8	+2.3P	-	5.9	8.6	+2.8P	-
経常利益	91	130	+38	+42.4	40	55	+14	+36.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	81	95	+14	+17.2	36	40	+4	+11.7
EPS (円)	62.49	73.81	+11.3	+18.1	28.06	31.71	+3.7	+13.0
為替レート (円)								
USD	106	122	+15	+14.9	112	121	+8	+7.9
EUR	140	134	▲5	▲4.3	141	133	▲8	▲6.2

為替による通期の 影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	3Q	QoQ	
				増減	%
売上高	411	474	459	▲15	▲3.3
営業利益	23	42	39	▲2	▲5.4
営業利益率 (%)	5.7	8.8	8.6	▲0.2P	-
経常利益	33	42	55	+12	+29.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	26	28	40	+12	+44.1
EPS (円)	20.18	21.98	31.71	-	-
為替レート (円)					
USD	121	123	121	▲1	▲1.1
EUR	133	136	133	▲3	▲2.8

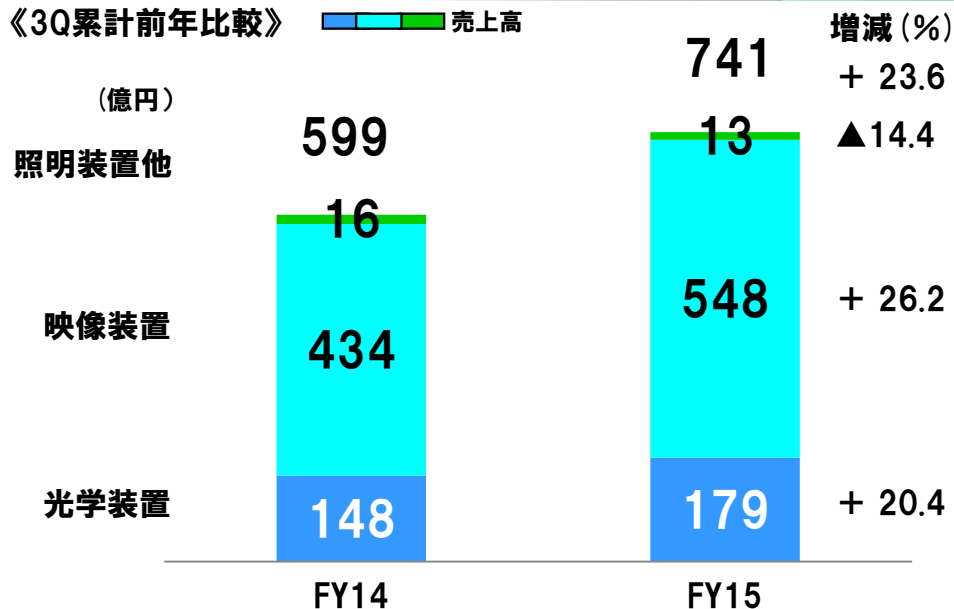
セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY14	FY15	YoY		FY14	FY15	YoY	
		3Q累計	3Q累計	増減	%	3Q	3Q	増減	%
装置事業	売上高	599	741	+141	+23.6	212	262	+50	+23.6
	営業利益	▲3	16	+20	-	0	11	+10	+1196.6
	営業利益率 (%)	▲0.6	2.2	+2.8P	-	0.4	4.3	+3.9P	-
光源事業	売上高	525	582	+57	+11.0	184	190	+6	+3.6
	営業利益	66	87	+20	+31.4	22	27	+4	+20.5
	営業利益率 (%)	12.6	14.9	+2.3P	-	12.3	14.3	+2.0P	-
その他 事業	売上高	23	21	▲1	▲7.9	7	6	▲1	▲22.2
	営業利益	0	0	▲0	▲31.6	0	0	▲0	▲32.0
	営業利益率 (%)	3.2	2.4	▲0.8P	-	4.3	3.8	▲0.5P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況

《3Q累計前年比較》 売上高



映像装置

YoYでは一般映像が14%の増収に留まるもシネマが5割近く増収。QoQでは一般映像が微減収、シネマは3割増収。

光学装置

YoYではUV装置が3割増収もキュア装置が微減。QoQでは季節要因もあり、いずれも減収。

《3Q累計前年比較》

(億円)

FY14

3Q累計

FY15

3Q累計

YoY

《3Q直前期比較》

(億円)

2Q

3Q

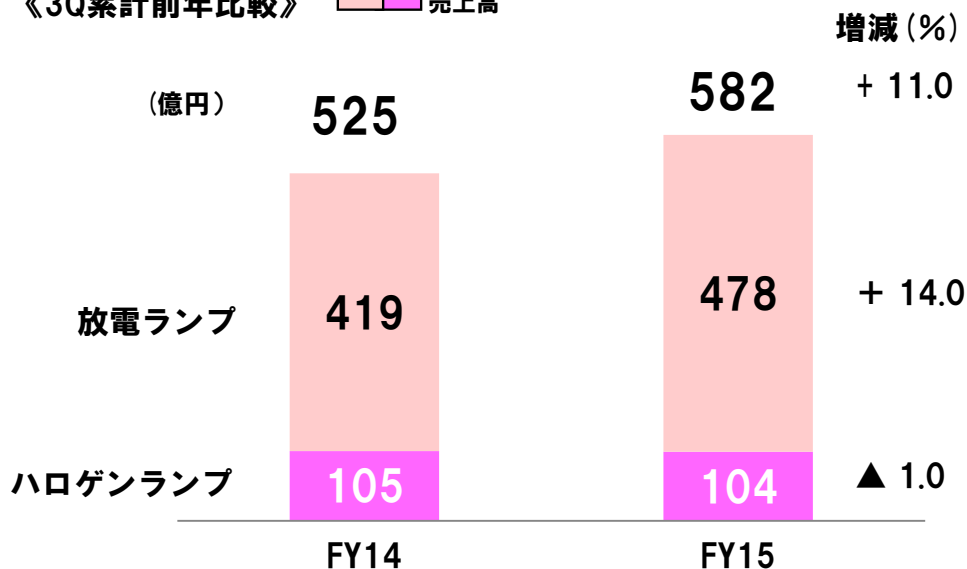
QoQ

売上高	セグメント	FY14 3Q累計	FY15 3Q累計	YoY	売上高	セグメント	2Q	3Q	QoQ
	映像装置	434	548	+113		映像装置	185	201	+16
	光学装置	148	179	+30		光学装置	75	58	▲17
	照明装置他	16	13	▲2		照明装置他	5	2	▲3
合計		599	741	+141	合計		266	262	▲4

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

光源事業セグメント概況

《3Q累計前年比較》 売上高



放電
ランプ

YoYではシネマランプの売上高が1割増、固体光源が買収効果で倍増。
QoQではいずれの製品もほぼ横ばい。

ハロゲン
ランプ

YoY、QoQいずれもOA用途は横ばい。

《3Q累計前年比較》 (億円)	FY14	FY15	YoY	《3Q直前四半期比較》 (億円)	2Q	3Q	QoQ
	3Q累計	3Q累計			売上高	売上高	
売上高 放電ランプ	419	478	+58	売上高 放電ランプ	163	156	▲7
ハロゲンランプ	105	104	▲1	ハロゲンランプ	35	34	▲1
合計	525	582	+57	合計	199	190	▲8

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

-
- I. 第3四半期業績概況
 - II. **通期業績見通し**
 - III. 参考資料

対通期公表値進捗

(億円)	3Q累計	進捗率 (%) (対通期公表値)	通期計画	
売上高	1,345	74.8	1,800	
営業利益	105	80.9	130	
営業利益率 (%)	7.8	-	7.2	
経常利益	130	87.2	150	
親会社株主に帰属 する当期純利益	95	81.0	120	
EPS (円)	73.81	-	91.91	
ROE (%)	-	-	5.7	
配当 (円)	-	-	26	
配当性向 (%)	-	-	28.3	
設備投資額	76	80.1	96	
減価償却費	47	66.0	72	
研究開発費	79	70.3	110	
為替レート (円)	USD	122	-	120
	EUR	134	-	138

通期業績見通し 《売上高》

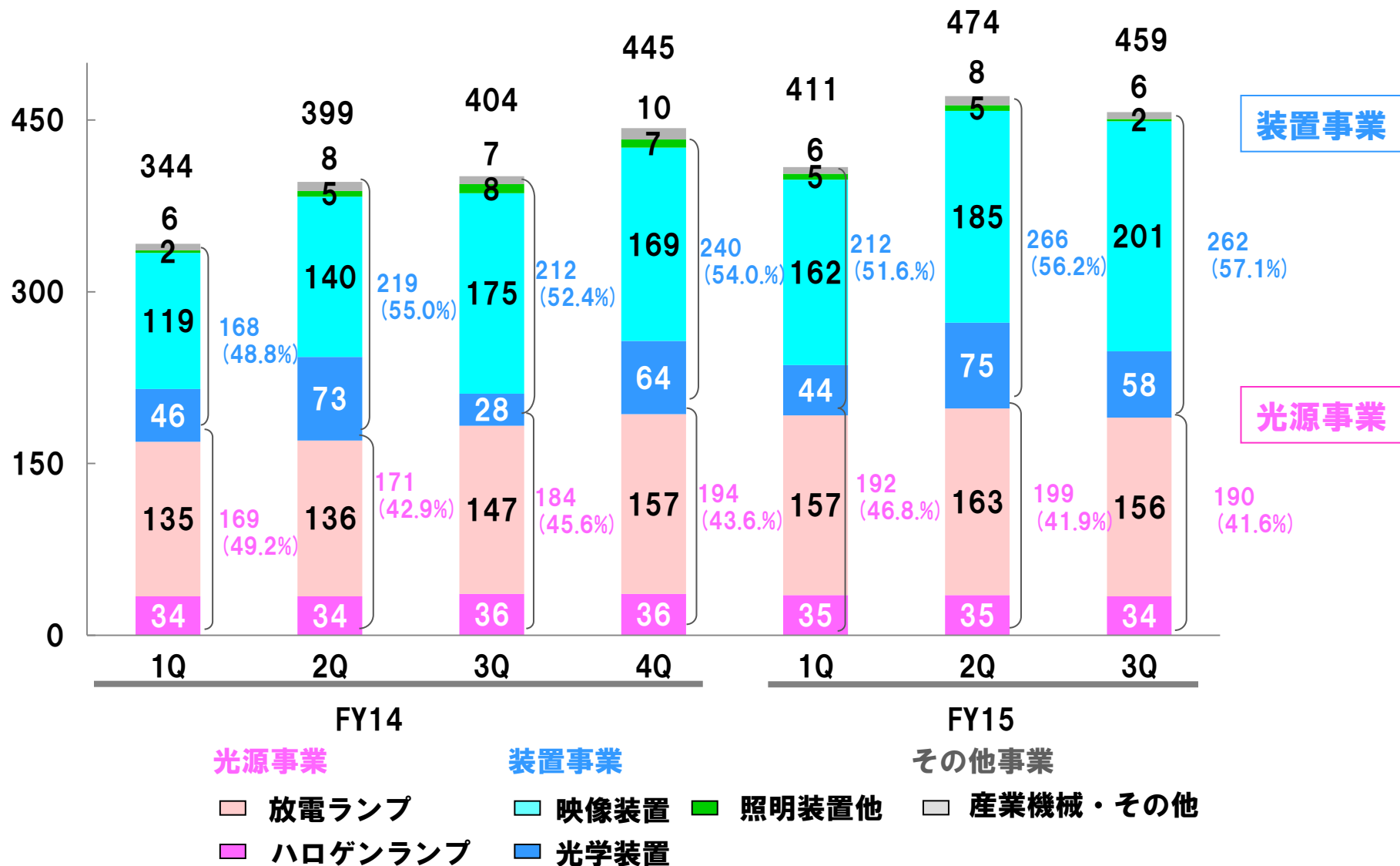
(億円)		FY15 (計画)	3Q累計 実績	進捗率(%) (対通期計画)	通期見通し
装置事業	映像装置	750	548	73.1	DCPは期初計画の4,000台をやや上回る見込み
	光学装置	245	179	73.1	電子部品用露光装置、光配向装置の出荷はほぼ期初計画通りも期ずれリスクあり
	照明装置他	20	13	69.5	
小計		1,015	741	73.0	
光源事業	放電ランプ	620	478	77.1	シネマランプは3Qに前倒しで出荷されたため平準化して減収
	ハロゲンランプ	140	104	74.7	横ばいもしくは微減の見通し
	小計	760	582	76.7	
その他事業	産業機械・その他	25	21	85.8	
合計		1,800	1,345	74.8	

ご参考：来期以降の製品別、主なアップサイド要因、ダウンサイド要因

	主なアップサイド要因	主なダウンサイド要因
UVランプ	OLEDの露光プロセスにおける露光回数増加 IOTによる半導体需要の増加	液晶パネルのダブつき、価格下落、長時間使用
シネマランプ	中国など新興国でのスクリーン数増加 ヒット作の公開	シネコン建設投資の減少 レーザープロジェクターの普及
データプロジェクター用ランプ	ハイエンドタイプの需要増加と遅延しているローエンドタイプの新製品投入	中国経済の減速による教育案件需要の減少
固体光源	ヘッドアップディスプレイなど新規アプリケーションの立ち上がり	開発の遅延
ハロゲン(OA)	高機能品(プレミアム製品)による単価アップ	中国経済の減速による特にプリンター需要の減少
デジタルシネマプロジェクター	中国など新興国におけるシネマスクリーンの増設	中国市場の冷え込み
一般映像	軍事・航空用シミュレーター事業の売却 レーザープロジェクターの普及	ボクサーの販売進捗遅れ
露光装置	OLED市場におけるUFX2の需要増加 UX7のFan-Out市場への投入	電子部品市場の減速によるUX4の販売減少
液晶用光学装置	中国投資の継続 OLEDプロセスでの採用	中国投資の減少 OLEDの急激な需要増による光配向装置の需要減
メディカル製品	リスクマーカーなど新製品の販売開始	事業化や販路拡大の遅延

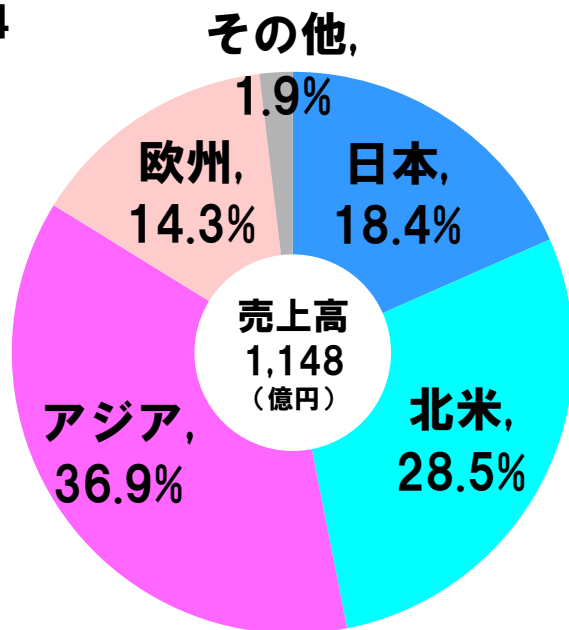
-
- I. 第3四半期業績概況
 - II. 通期業績見通し
 - III. **参考資料**

サブセグメント別売上高《四半期比較》

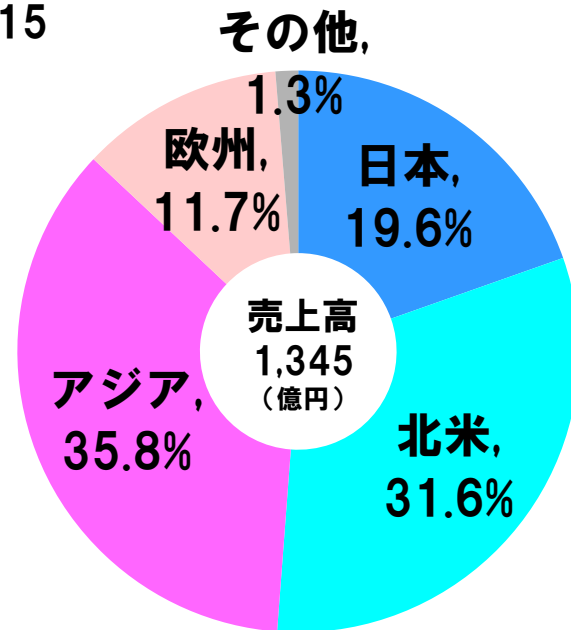


海外売上高比率 《3Q累計》

◆FY14



◆FY15



営業外収支《3Q累計》

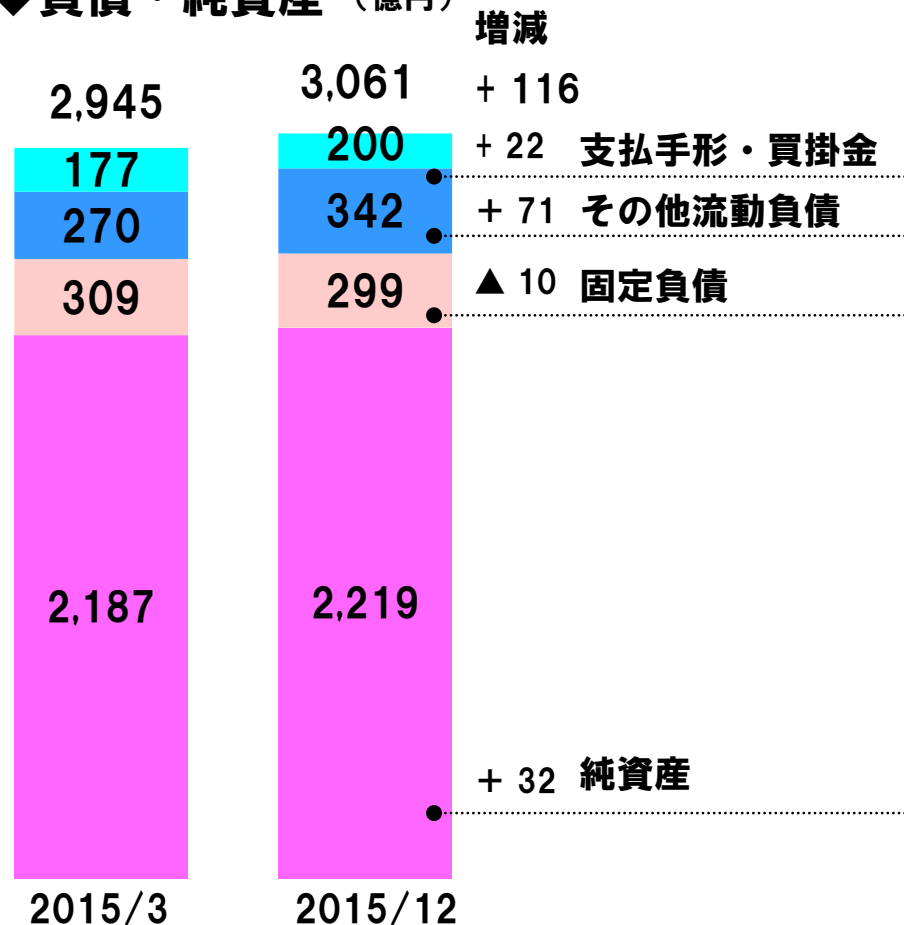
(億円)	FY14	FY15	YoY
営業外収益	31	29	▲2
受取利息	5	5	+0
受取配当金	10	11	+1
為替差益	7	7	+0
売買目的有価証券運用益	4	1	▲2
投資有価証券売却益	-	-	-
その他	4	2	▲1
営業外費用	3	3	▲0
支払利息	1	1	+0
為替差損	-	-	-
持分法による投資損失	0	0	▲0
その他	1	1	▲0
営業外収支	28	25	▲2

BS内訳

◆資産 (億円)



◆負債・純資産 (億円)



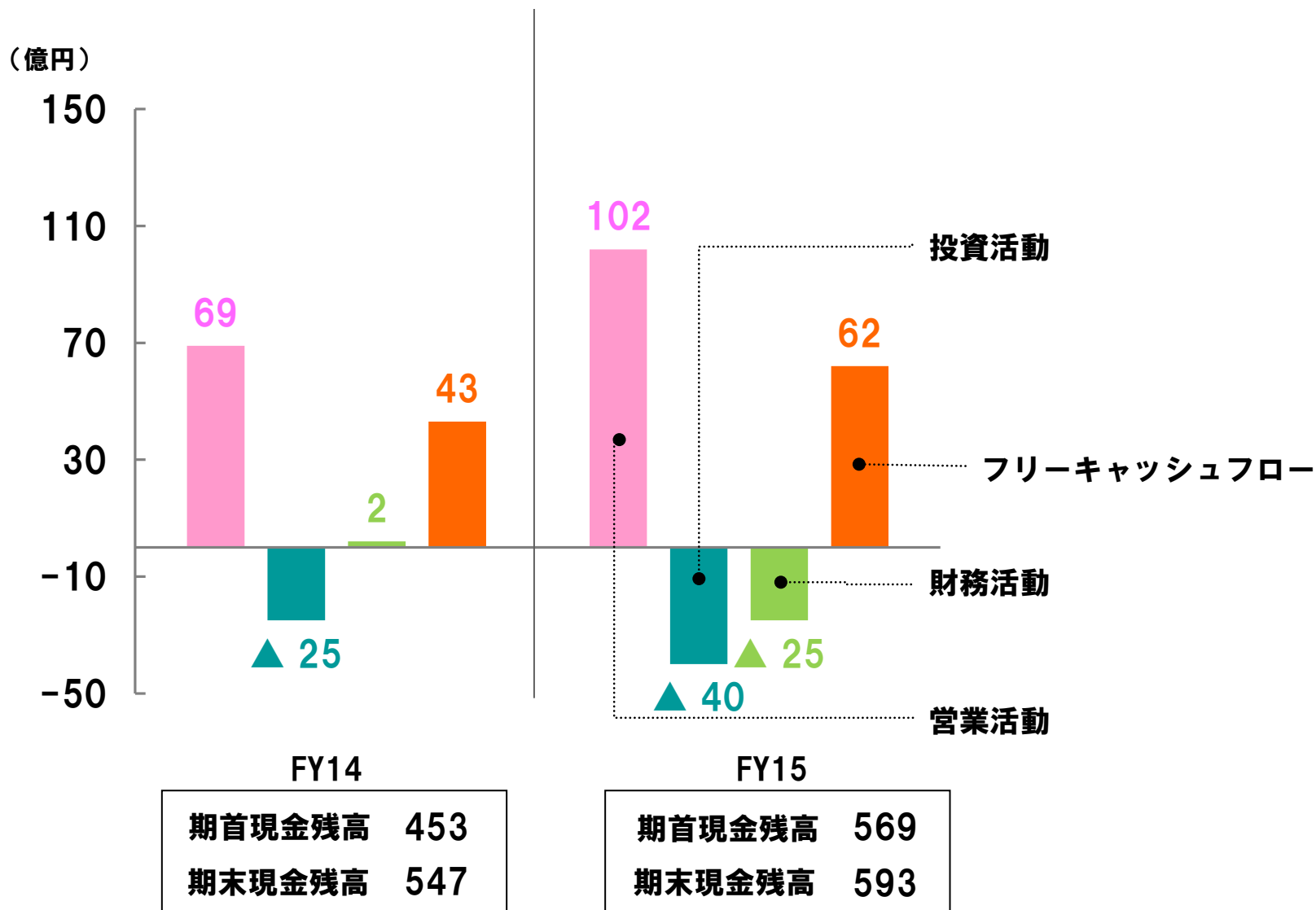
●回転月数 (ヶ月)

	2015/3	2015/12
売上債権	3.0	2.7
たな卸資産	3.5	3.7

●自己資本比率 (%)

	2015/3	2015/12
自己資本比率	73.3	71.7

キャッシュフロー《3Q累計》

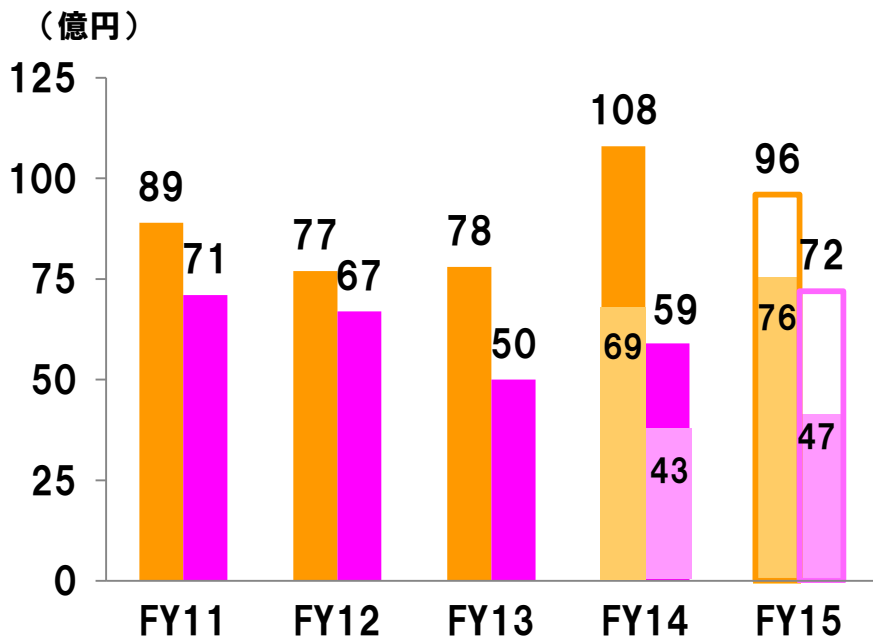


設備投資額・減価償却費・研究開発費

◆設備投資額・減価償却費

設備投資額

減価償却費



設備投資額に含まれる「のれん」の額

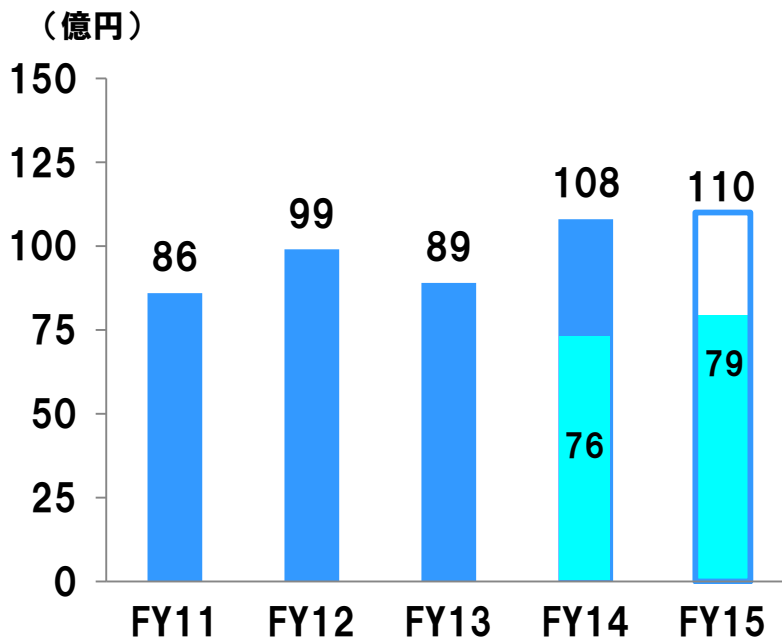
FY14 (通期) . . . 24億円

FY15 (3Q累計) . . . 22億円

	1Q	2Q	3Q
実績	19	10	46
計画	15	15	16

◆研究開発費

研究開発費



	1Q	2Q	3Q
実績	25	27	26
計画	-	-	-

T O P I C S

罹患リスク検査サービス事業開始

2016年1月14日発表



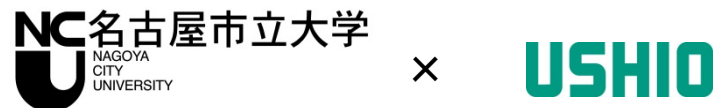
ウシオとバイオマーカーサイエンス(株)、(株)プロトセラの3社は共同で、大腸がんと糖尿病の罹患リスクを早期に判定する検査サービス事業を2016年2月1日より開始。

プロトセラが製造する『ProtoKey® 大腸がんリスク検査キット』と『ProtoKey® 糖尿病リスク検査キット』の2種類の研究用試薬をウシオがバイオマーカーサイエンスに販売し、同社は臨床検査会社や病院、健診機関等の医療機関向けに大腸がんリスク検査サービスと糖尿病リスク検査サービスを提供します。



ハンディタイプの紫外線治療器新発売

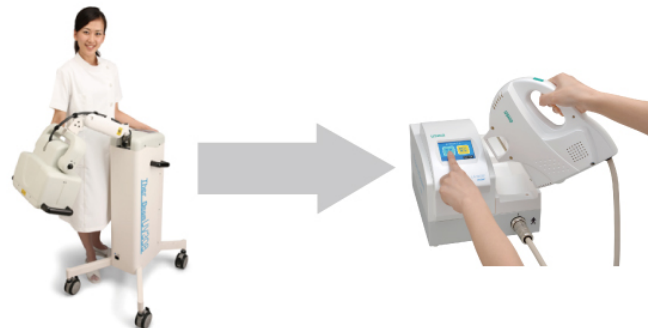
2016年1月20日発表



名古屋市立大学と共同で製品化した紫外線治療器「セラビーム® UV308」(2008年発売)のハンディタイプ「セラビーム® UV308 mini」を2016年2月1日より全国発売。

特徴：308nm付近の紫外線を採用すると同時にリスクのある短波長域を、「エキシマフィルター」で制御することで、患部に対する効果的かつ安全性に配慮した照射が可能。

保険適用される疾患：乾癬(かんせん)、白斑(はくはん)、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)、類乾癬、菌状息肉腫(きんじょうそくにくしゅ)、悪性リンパ腫、慢性苔癬状靴擦疹(まんせいたいせんじょうひこうしん)。



TheraBeam® UV308 mini

CDS、マトリックス製品ラインをロックウェルコリンズ社に売却

2016年1月26日発表

- ウシオの100%子会社クリスティデジタルシステムズ (CDS) はコア事業である企業向け、シネマ・エンターテインメント向けの映像関連事業に集中するため、軍事シミュレーター用マトリックスシリーズの資産を、米国ロックウェルコリンズ社(RC)に売却する契約を締結する。
- RCは、Matrix StIM, Matrix SIM WU, WQの製品ラインを獲得し、軍用と航空用シミュレーション、及び、同訓練用に独占販売権を持つ。また、RCは、システムエンジニアリング、インテグレーション、サービス・サポートをCDSに提供し、CDSが引き続き、その製造を行う。
- RCは、CDSのその他のプロジェクション製品と関連ソフトについても軍用と航空用のシミュレーション、及び、同訓練用に限り、独占販売権を獲得する。
- CDSはRCに売却する製品ラインと、それに関連するハードとソフトを、RCの軍事及び防衛関係の顧客向けに引き続き、開発・製造する。
- CDSとその販売代理店は、軍用と航空用以外のマーケットには、シミュレーション、及び、同訓練用製品を直接販売できる。
- 契約期間は20年間。
- 本契約は、2016年3月末までにクロージング予定。

Rockwell
Collins

×

CHRISTIE®



USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）コーポレートコミュニケーション部
（03）3242-1836
contact@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>